**科目名　データベース入門**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** |  | | | | |
| **科目の種類** | 専門 | **単位区分** | 必須 | **単位数** | 1単位 |
| **授業方法** | 講義と演習 | **開講学期** | 前期 | **学年** | 2年 |
| **学科・コース** | メディアコミュニケーション・スポーツ学科 | | | | |

**授業概要**

データベースの基礎をMicrosoft Accessを通して学習する。

**カリキュラムにおけるこの授業の位置付け**

　情報処理を行う上で必須となるデータベースについて、Microsoft Officeの中のAccessを使用して学習する。

**授業項目**

1. Microsoft Access2016の画面構成について  
   データベースの概要
2. データテーブルの設計

Accessのデータテーブルの作成を行う。データの正規化についても第3正規化までを理解したテーブル作成を行う。

1. クエリーによるデータの抽出  
   データの抽出方法について学習する。
2. フォームによるデータ入力  
   表形式のデータ入力方法にとどまらず、入力しやすい画面の生成法について学習する
3. レポートの作成方法

抽出されたデータを印刷するためにデータをレイアウトする方法について学習する。

1. SQLについて  
   クエリーによるデータの抽出だけのとどまらず、データのSQL言語によるデータの抽出方法について学習する
2. SQLについて（２）

AccessにおけるSQLの実行方法を学習するとともに、課題演習を通してSQLの理解を深める。

1. 単位認定試験

**授業の進め方**

授業は、講義と演習を組み合わせた形で行う。講義でAccessの操作方法について学習した後に、課題を提示して、Accessを実際に利用して課題演習を行う。授業終了時に課題の提出を行い評価とする。

**授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）**

Accessを利用し、テーブルの作成などの操作、クエリ、フォームについての操作ができること。

**成績評価の基準および評価方法**

定期考査の点数（80%）、出席率および授業態度（20%）として評価

**教科書**

なし

**参考書**

30時間アカデミック　データベース＋Access 2007/2010　実教出版

**実務経験**

**備考**